

第1回 高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画策定委員会 会議録

日時：令和8年（2026年）7月3日（金）

場所：高砂市役所南庁舎5階大会議室

1. 開会および資料確認
2. 市長挨拶（代読：副市長）
3. 委員の委嘱について
4. 委員および事務局自己紹介
5. 議事

（1）委員長、副委員長の選出

事務局

それでは、次第の「5. 議事」の「委員長、副委員長の選出」に移ります。資料2をご覧ください。要綱第5条「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定しています。

委員長、副委員長を定めることについて、特にご意見等がございませんようでしたら、関西福祉科学大学の藤原委員を委員長に、高砂市医師会の三木委員を副委員長に、ご提案させていただきますが、いかがでしょうか。ご承認いただけましたら、拍手をお願いいたします。

（一同拍手）

ありがとうございます。三木委員につきましては、先ほど申し上げました通り、本日ご欠席ですが、事前にご承諾をいただいております。それでは、これからの議事進行につきましては、委員長の方にバトンタッチしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長

改めまして皆さんよろしくお願いいたします。

では、ここからは、お手元の次第に沿って進めていきたいと思います。

協議事項「（2）第10期計画の基本的な考え方について」、事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局

（2）第10期計画の基本的な考え方について、説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明に、何かご意見、ご質問等あればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

主に現状で、今現在の計画、そして次期の第10期のことの説明だったかと思います。

この後が、アンケート結果の報告になっていきますので、そのあたりも含めて、皆さんからご意見をいただければと思っています。

では、協議事項「(3) 第 10 期事業計画策定のためのアンケート調査結果について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

(3) アンケート調査結果について、説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明に、何かご意見、ご質問等あればお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員

資料 4 のほうですが、5～6 ページの「2. 介護について」です。これは要介護認定を受けていない人が対象のアンケートかと思います。なので「介護・介助はされていない」という方が 80.3%となっています。

実際に、訪問介護の利用意向とか通所介護の利用意向となると、「専門職によるサービスを提供してほしい」は訪問介護で 34.8%、通所介護で 52.3%、「生活支援であれば安価なサービスを利用したい」は訪問介護で 54.2%となっており、前ページでは「介護・介助は必要ない」というのが多いのに、専門職がほしいとか、安価なサービスを利用したいとか、理解しにくいのですが、いかがでしょうか。

事務局

ご質問ありがとうございます。

要介護認定を受けていない人が対象のため要支援認定の人は含まれています。要支援認定を受けられている方が回答されており、そのような回答になっているのだと思います。

委員

6 ページ、7 ページですが、要介護認定を受けていない人全員の調査なのか、それとも制度を利用されている人へのアンケートなのか。どうなのでしょう。

委員長

要介護認定を受けている人は含まれていない、要支援認定の人は含まれています。5、6 ページの下にクロス集計があり、そこに「認定該当状況」の中に「一般高齢者」と「総合事業対象者、要支援 1・2」というのがありますので、要支援の人は含まれるということになります。

委員

その辺は理解しているのですが、介護・介助は必要ないと答えているのに、安価なサービスは利用したい、どういう制度を利用したいのかと思いました。

事務局

5～6 ページについて今は必要ないという方は8割というものに対し、6 ページからはサービスを受けるとなった場合で聞いているため差が生じているものと考えています。

委員長

「たら・れば」で聞かれたら、一定の回答はあるということですね。
ほかにいかがでしょうか。

委員

高齢者とお話をする中で「こんなことが困っているな」ということをお話しさせていただきます。

1 は移動サービスです。ホームヘルパーさんかケアマネジャーさんから「移動スーパーがいつ、どこに来るかという情報があれば、私たちも助かります」と言われたことがあります。家に訪問する際、買い物を頼まれて、遠くまで行かなければならないときに「もし移動スーパーがその利用者の家のすぐ近くに来るのであれば、買い物を済ませてから家に行けるので、すごく助かる」という話でした。こういった情報は高齢者本人だけでなく、支援に携わるヘルパーさんたちにとっても使える情報になるのかと思いました。

もう1つ。薬剤師さんだったのですが「電動の三輪自転車の補助がないか」という話をされました。なぜかという、その人が病院に来られる方と話をしている中で「今は車で病院に来ているけれど、次は車では来られないと思う。運転するのがもう無理なので。そうなると移動手段が自転車になると思うのですが、「普通の自転車ではふらつくので、三輪の自転車ならいける。できれば電動アシスト付き三輪自転車の購入補助のような制度があったらいい。そのような制度があれば車を手放して、免許を返納して、自分で買い物や病院に行けるようになる」というお話を聞きました。

地域で行われているいきいきサロン、高齢者を自治会館に集めて、催し物を月に1回ほどしているのですが、高齢者の方の足腰がだんだん弱ってきて、自治会館の中まで入るのにも杖を突いて歩かないとダメなようになっている人がいます。そうなってくると、今度は行き帰りの移動が心配になってきます。送らないといけなくなるのかと思って、近くを走れるような車、例えばゴルフカートのようなものがあれば、遠くは無理ですが、町内会の単位での送迎や外出の手伝いは、地域の中でも助け合いができるのかなと思いました。

高齢者の方のお話を聞く中で、この移動支援の関係で3点ほど気づいたことがありましたので、検討していただけたらと思います。

委員長

ありがとうございます。

移動支援というのは高砂市だけではありませんね。兵庫県内でも阪神間以外の地域はどこでもある話で、明石市でも東西移動は便利だけど、南北移動は不便という話もあります。

中山間地域のほうに行くとコミュニティバスを走らせたりと、いろいろやっていますが、今度は使い勝手が悪いという話になったりしています。もちろん補助があれば使えばよいのですが、町内会・自治会の中でできる対応があるならそれを考える、それに対して市として必要だと思えることは施策化していくことも考えられます。

こういった形で意見を言っていたかかないとわからない部分でもあります。意見が必ず反映されるわけではありませんが、こういった場で共有していく必要があるかなと思います。

実際、高砂市では電動三輪自転車への補助といったものはあるのでしょうか。

事務局

高砂市のほうでは、要支援・要介護認定者や運転免許返納者の方で、かつ市民税非課税世帯の方などを対象に、福祉タクシーの利用助成券の交付などを行っております。まずはそれを活用していただくというのが1点ございます。

委員からいただいた三輪自転車の補助についてですが、山間地域においては、実施しようかという話はあっても実現には至っていない。高砂市の場合は県下では公共交通空白地帯はないという認識があるらしく、タクシーの利用助成券であったり、高齢者が移動しやすいようにと、庁内の都市創造部といろいろなところに話を聞きに行ったりと、取り組んでいます。

ただ、自治会単位・町内会単位でも歩くのが難しくなっている方に対してどう支援していくか、そのようなお声は聞いております。どうやっていくかは今も検討しておりますし、できれば具体化もしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

委員

わかりました。どこかの自治体では実際に補助金を出している、それも高齢者だけではなくって、子育て支援の人の電動自転車にも出しているところもあったように思います。

また、それについても検討をお願いします。

委員長

びっくりですね。県下において「公共交通の空白地帯がない」という認識をされているというのは。たぶん生活実態と調査の仕方の部分との違いにもなってくるのかなとは思いますが。

とは言え、車の便利さもありますし、でも高齢の方の運転の怖さというか、リスクもありますので、そこも考えていかなければいけないと思います。

ほか、いかがでしょうか。

委員

先ほどタクシーの補助のお話が出たんですけど、それは「非課税世帯」に限られているわけですか。私が今住んでいる明石市のほうでは、75歳以上の高齢者全員に対して、一律で年間

2,000円分のタクシーチケットが送られてくる。おつりは出ませんので、初乗りの場合は差額を支払う。

非課税世帯（経済的な困窮度）に関わらず、経済的に困窮している状況にあるので。そういったところに対する助成、じょうとんバスに関しては安くなったりもしますが、病院に通院する場合はタクシーが有効になりますので、そのあたりをお考えいただけたらと思います。

委員長

ありがとうございます。（事務局から）なにかありますか。

事務局

ありがとうございます。

実は、高砂市は、タクシーの運転手の人材不足という課題もございます。実際のところ進めるにあたって、今色々と協議を重ねて、やっとできたという経緯もあります。

いろいろな課題があるのですが、進めていけるものは進めていきたいと考えております。

委員長

いろいろ事情があります。

移動支援については難しく、自治会などで整えましようとなっても、タクシー会社はどうなるか、民業圧迫という話が出てきたりします。一概にやっしまおうという判断も難しい。いいからといってやっしまようと、それによって撤退されてしまう。使いたいときに使えないような状況にもなってきます。市として慎重に調整を図っていかないとけない。

明石市がそういう形ができていているというのは、明石市ならではの事情があってできているところもあると思います。いいところは真似したいと思いますが、実は持って帰ったときに個々の事情があって、どうしても実現できないということもあろうかと思います。特に難しい問題かと思います。

ほか、いかがでしょうか。

委員

アンケートのケアマネジャーの自由記述のところを読んでいると、胸が切なくなるんですけど。ケアマネジャーの業務内容に関して、市町のほうでパンフレットのようなものを作っていると聞きました。それを契約のときに見せることで、ケアマネジャーはこういう業務をするんだと、より理解をしていただく機会にしていると聞いていますので。

そういった物があると、シャドーワークの削減、ケアマネジャーの負担軽減につながるのではないかと思いますので、ご提案させていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局

ご意見ありがとうございます。他市町でそのようなガイドラインを作られている事例があることは、私どもも存じ上げております。別の会議でも同じようにケアマネジャーの方からもそのようなご意見を頂戴しております。2024年に国のほうも業務を明確化する、検討をするとい

うような話があったのですが、フィードバックというか、まだ具体的な話は確認できていない状況です。先日、兵庫県とヒアリングした際、県も検討しているという意見がありました。高砂市としましても、ケアマネジャーの方に業務を続けていただきたいということもありますので、今後作成する方向で検討を進めてまいりたいと考えております。

委員

ありがとうございます。ぜひ、お願いします。

委員

高砂ナビを初めて見てみたのですが、高齢者についての情報があるのでしょうか。情報が探しにくいというか、ないんじゃないかと。どうすれば見られるようになるのでしょうか。

事務局

あとで設定をみさせていただきたいのですが、通知設定のところ、ご自身が受け取りたい情報のジャンルにチェックを入れておいていただくと、届く仕組みになっております。詳しくはまた後程でお願いいたします。

委員長

他いかがでしょうか。

委員

地区ごとに支えあいづくり協議会があり、薬剤師が会議に参加しています。先ほどの移動手段についてですが、北浜地区は予定だと9月からミニバスの運行をしたり、阿弥陀地区では移動ボランティアさんを使われていたりしています。それぞれの地区支えあい協議会の情報、要望といったものは市には届いているのでしょうか。

事務局

ありがとうございます。生活支援体制整備事業として市のほうも一緒にしておりますので、要望など、届いております。いつもありがとうございます。

委員長

市に集約されていった情報をどう共有していくかが必要かなという感じですか。

事務局

共有につきましては、去年度、地区ごと、および高砂市全域での地域資源の可視化を行い、具体的にマップにして各地区にはお配りしております。市域全体、各地区の特徴が出ているかと思います。今後も進めてまいります。

委員長

共有していただき、使っていただく分にはありがたいのですが、想像以上に使われてしまうと回らなくなる可能性もあります。そこまでいけばいいのですが。

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

ケアマネジャー調査、私も2～3週間前ですかね、加東市のほうで地域ケア会議があって、ここでも同じようにシャドワークのことは出ていました。今すごく個人の裁量に委ねられていますよね。突っぱねられる人は突っぱねられるんですけど、突っぱねられない人はとことんどっぷりと浸かっていってしまい、疲弊をしているという感じです。どこかでそれを引き剥がしてあげないといけないところはあるのかと思います。同じように東京のほうだったのですが、「ケアマネの業務ってこれです」というのがちゃんと示されていて、「それ以上のことはしなくていい」というぐらいの感じのものが契約のときに示しています。でも、それがあったとしても結局、個人に委ねられている部分もあります。なかなかやっぱり休めないというようにところもあったりします。難しい問題ではある一方で、国も少しずつ整備をし始めているとは思っています。その状況を見ながら、進めていかないといけないのかと思うところです。

あと業務負担のことも必ず出てきます。書類作成はどこもかしこも多く、そういったものに対してICTをどれだけ使っていくのかということも、多分これから議論としては上がってくる可能性は十分にある。もしくはAIっていうものを使っていくのか。そういったところが、この計画の中で出されてくるのか。計画には反映はされないけれど、実態・実践の中で、そういったことが必ず出てくる。流れとしては多分止められない流れの一つかと思っています。そういったところも含めて、その介護支援専門員の方の業務は、ちょっと考えていかないといけないところかと思っています。

ほか、いかがでしょうか。

では、続いて「(4) 今後のスケジュールについて」、ご説明をお願いいたします。

事務局

(4) 今後のスケジュールについて、説明

委員長

ありがとうございます。何かご意見はよろしいでしょうか。

今日は1回目、残り4回ですね。2回目が「骨子」、3回目が「素案」、その3回目の素案での皆様のご意見を踏まえて修正したものが4回目に出てきて、そこからパブリックコメントに入って、5回目で完成という流れになっていきます。

そういう意味では、2回目と3回目のところに関して、皆様からご意見等をいただいていかないと実態とそぐわないものが出てきかねないところもありますので、その2回は、ぜひご意見等いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員

資料は少し早めに送っていただくことは可能でしょうか。

事務局

準備ができました資料につきましては、事前に1週間前くらいにはお送りさせていただきたいと思っております。

委員長

たまに当日配布があるかも、という感じで。基本は事前にすべてお送りさせていただくという形になりますので、お目通しいただければ議論のほうも進むんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。

ほか、よろしいでしょうか。

(5) その他

委員長

では「(5) その他」ですが、何かございますでしょうか。

委員

老人クラブです。

私ども、老人クラブのことも審議いただいているかと思います。第9期の施策体系で「社会参加・生きがいづくり」というところがあります。ちなみに私どもの老人クラブの活動をどういう形でやっているか、アンケートでも老人クラブがどこで行われているのかというご意見もあるようですので、簡単に説明させていただきます。

今、老人クラブの平均年齢がかなり上がっております。83歳くらいが平均年齢になってきています。以前は80歳未満でしたが、今は83歳くらいに上がっております。

そういった中で、要介護にならないように、会員の一人でも介護を受ける年齢が高くなるよう、介護を受けなくていいような形での取り組み、地区の活性化を図る意味でやっているところでございます。

若干紹介しますと、スポーツ活動、身体を動かすということ、地域では100歳体操とかをいろいろな形、自治会館などに集まっていただいて、週に1回そういう運動をしています。

それからまた、介護予防という形では認知症予防の講義を受けたり、あるいは手先を動かす活動など、そういう運動もしております。そういったいろいろは行事を考えながらやっているというところでございます。

そういった意味では、非常に元気な高齢者が多くなっています。要介護が必要ではないようなところ、いつかは受けなければならないとは思っていますが、少しでも遅らせるというか。

介護費用に関して、若い人が少ない、私ども団塊の世代が介護を受けるようになったとき、今度は支える人たちが非常に少なく1.3人ぐらいですか。そういった意味では、私たち老人クラブの役割といたしましては、介護保険を使わなくていいような、使う人を一人でも少なくするというような形で、今取り組んでいるのが実態でございます。

今後、会議を進めていく中で、老人クラブの取り組みも含めた中での提案をしていきたいと考えております。現状の活動だけをちょっと報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

委員長

ありがとうございます。

老人クラブ、すごく大切な取り組みだろうと思いながら聞かせていただきました。ただ一方で、アンケートにもありましたように、常勤・フルタイムで働いている人たちもいるということですね。そういった人たちも巻き込んでいけるような形とか、新たな老人クラブのあり方、というところが出てくるのかなと思いました。

去年、老人クラブで研修を行いました。元気な方が多く、逆に元気をもらいました。元気な高齢者が地域でアクティブに活動してくれるというのが、地域の活性化、元気につながっていくと思います。メンバーが減ってきている、固定化していつている、新しい人が入ってこないとか、ネガティブなところもありますが、これだけ維持できているというところに、大きな意味もあり、老人クラブのこれからのあり方、ありようというところもすごく大切になってくるのかと思いますので、ぜひそういったところのご意見もいただければと思います。

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

ないようでしたら事務局から連絡事項等があればお願いします。

事務局

次回の会議は、8月24日、月曜日、13時30分から開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

あとは、口座登録がない委員の方につきましては、ご案内と一緒に「支払金口座振替申出書」を事前に郵送しております。事務局職員のほうへ委員会終了後、ご提出のほどお願いいたします。

委員長

今回は8月24日、真夏の暑いときにすいませんが、お集まりいただければと思います。涼しい会議室が待っていると思ってご参加いただければと思います。

では、特にご意見・ご質問等ないので、これで第1回高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画策定委員会を終わりにしたいと思います。

皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

事務局

委員長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては長時間の審議にご協力いただきましてありがとうございました。またスムーズな議事進行もありがとうございました。

次回8月24日13時30分にまたご参集いただきたいと思います。

本日はご苦勞様でした。ありがとうございました。